

スマイル通信

令和2年・2月・9日発行 第45号

年が明けて初となるスマイル通信です。昨年はご家族の皆様や、地域の方々から様々なご支援をいただき、大変お世話になりました。

早いものであっという間に一か月が経ちましたが、この間にも楽しいこと悲しいこと様々な出来事があり、目まぐるしい一か月であったように感じられます。

最近はコロナウィルス等の新型肺炎が猛威を振っています。施設としても感染予防を徹底し備えて参ります。

クリスマス会

12月25日は年に一度の楽しいクリスマス会でした。前日からクリスマスツリーの準備等をしてきたこともあり、入居者様から「今度変なサンタとトナカイがやってくるぞ」「誰かな、楽しみや」という会話が聞かれていました。



当日はサンタやトナカイの格好に扮した職員が進行役を務めました。毎年この日に駆けつけてくださるボランティアの安達様と、腹話術人形の元氣くんが、面白可笑しく漫才をやり取りされて入居者の皆さんは大笑い。職員は「パプリカ」の歌に合わせてダンスを披露。サンタさんのスポンがプカプカですれやすいハプニングも乗り越えて、皆様に笑って喜んでいただけました。元氣くんとの記念撮影や、プレゼント贈呈、会後の食事もワイワイと楽しんでいただけました。年々職員のレベルを上げて、皆様に笑いを提供したいと思います。



鍋パーティー

年末に恒例の鍋パーティーが行われました。「今年は何味かな?」「私は鍋やったら河豚がいいな。」と食べる前から話が盛り上がっていました。



「やっぱり鍋は皆で食べると美味しいね。職員さん私餃子おかわりね。」と皆がついつい食べ過ぎたようでした。普段なら残ってしまう野菜もペロリと平らげ、満足そうに笑顔を見せてくださいました。

節分

2月3日は節分で豆まきを行いました。豆をまいて邪気を払い、福を呼び込むとされる伝統行事です。1月の下旬よりの当てるのレクを行い準備万端です。

当日は2匹の鬼を見ると、「鬼は外! 鬼は外!」と普段にない大きな声で何度も玉を投げつけ鬼退治。入居者様に年女の方がいらしたため、福娘として張り切っていました。最後は鬼と仲直りして記念撮影を行いました。



令和2年、子年を迎えました。本年もよろしくお願いたします。インフルエンザや外国ではコロナウィルスによる新型肺炎も流行する中、グループホーム偕楽園は入居者様に影響することなく、1月を乗り越えまし

た。暖冬と言われ、お正月は天気もよかったです。中旬を過ぎると天候が崩れやすくなり寒い日が多くなりました。21日と28日はなんとか雨を避けて初詣に行くことができました。

少し風があったものの、お賽銭を投げたり、鈴を鳴らしたり、おみくじを引いたりとお正月ならではの行事を楽しめました。



令和2年お正月 & 初詣



お正月は、おせち料理以外にも福笑いやすごろくのゲームで大笑いし、皆様でわいわい楽しく過ごしました。年末年始はご家族のご面会や、外食、外泊をされる方もいらっしゃいます。中には「お正月家にかみ笑いの方もいらっしゃいました。



ベストショット

皆さんの普段の様子のお写真が大変好評でしたので、今回もたくさんの中から、選び抜いた一部をご紹介します。



行事食

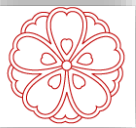


11月は23日に行事食を提供し、12月は25日に洋風メニューをご提供させていただきました。年が明けて1月の三が日はおせち料理やお雑煮をご提供し、1月7日は七草粥を、2月3日は節分の日ということで、ちらし寿司をご提供させていただきました。お喜びいただいております。寒い時期が続いていますが、施設でのお食事で季節を感じたり、「おいしいね」「また食べたい」とのお言葉を聞けると、職員も嬉しく思います。

行事食予定

*3月3日にひなまつりの行事食をご提供予定です。

*3月終わりのから4月初めにかけ、借楽園祭りを開催する際に模擬店を計画しております。



オレンジカフェ別府で(藤田)

12月21日に野口ふれあい交流センターにて別府市主催のオレンジカフェが開催されました。毎月第3土曜日に開催されていますが、今回は市民ボランティアで参加されていた女性がらうかがった話をお伝えします。ボランティアの女性(Aさん)の旦那様がご病気になり自宅で看病し、最期も奥様に見守られながら迎えられたそうです。Aさんは看取った直後は寂しさや大変さはさほど感じずに毎日を過ごしていたそうです。しかし、1か月ほどたつてから、焦燥感を感じ、うつ病に近い状態になっていたそうです。ご友人に声をかけられ、高齢者施設ボランティアのことに知り、自宅の近くの有料老人ホームで土曜日の午前中に利用者様の話の相手として一緒に時間を過ごすことになりました。数か月して夜もよく眠れるようになり、「もっと何かできなにか」と前向きになることができたそうです。市役所でも無料配布されている「ボランティア養成講座」や「オレンジカフェ」に興味をお持ちになり10月のオレンジカフェから、ご参加されるようになったとのこと。オレンジカフェの前と後で、スタッフ同士で挨拶や情報交換をするのですが、その時にAさんが話してくださり、詳しく伺うと身の上の話を初対面の私にも聞かせてくださいました。誰かのためにしていると感じるボランティアですが、笑顔になれたり、純粋に楽しかったりとお互いにとても良いことが増えるのだとあらためて感じました。

行事予定

*2月 おやつ作り ひなめくす

*3月・4月 おやつ作り 借楽園祭りの花見ドライブ

*毎月、音楽会・生花クラブ・理容サービスを予定しています。



趣味の部屋(藤田)



今回は音楽について、特に昨年映画「ボヘミアン・ラプソディー」で話題になったイギリスのロックバンド「クイーン」についての素敵なお話を紹介させていただきます。職員藤田が初めてクイーンの曲を意識したのは、中学3年生の時でした。当時は家族が他界した後で自分も高校受験を控えておりストレスたっぴりな時期でした。看病疲れもあつた母が前向きになるために毎日聴くようになった音楽が、クイーンの楽曲でした。母は10代の頃から英語文化に興味があり、学生時代、結婚後や子育ての時期もラジオや教育番組で英語に触れていました。母が初めてクイーンの曲を聴いた時にはすでにメインボーカルのフレディ・マーキュリーは亡くなっていたのですが、その力強い声や優しい音色、レコードジャケットを自分でデザインし作画も担当する美術センス、本人の生まれ育った環境から創出される映像の面白さなど、様々な面からその才能があふれており、全く色あせていなかったのです。



例えば、私が面白いと思った「アイ・ウォント・ブレイク・フリー」の映像はメンバー4人が女装してよくある家庭の一場面を演じながら歌うといったコミカルさがあります。映画のタイトルにもなった「ボヘミアン・ラプソディー」は、最初は子供から母親への秘密の告白からシリアスに始まります。途中から何度も曲調が変わり、最後が一番盛り上がるという魅力たっぴりな曲です。

私が感銘を受けた曲は「ザ・ショー・マスト・ゴー・オン」という曲で、フレディ氏が闘病する中で作った曲です。「自分がつらいときでも、がんばらなければいけない」といったメッセージ性のある曲だと思っています。ミュージカル映画「ムーラン・ルージュ」の中でニコール・キッドマンが演じた女性が歌ったことでさらにその深さを感じた曲です。どの方にも思わず口ずさむ歌や、感動する歌があると思います。つらい時も励まされる曲、涙が出るほど感動する曲などたくさんありますね。

入居者様もよく歌番組を見ながら一緒に歌ったりハミングしている姿を見かけます。ノーマジック、ノーマイフで、音楽があつてこそ毎日が楽しいと思います。歌が下手だから恥ずかしいわという方もいらつしやいます。が、声を出して歌うと楽しくなりますよ！



掲示板

◎12月にさくら通りに1名、1月にもみじ通りに1名の介護職員が入職しました。ご面会にいらした方々にはご挨拶させていただきました。ありがとうございます。今後ともよろしく願っています。

◎2月22日 土曜日の14時より、特別養護老人ホーム2階多目的ホールにて、家族会を開催させていただきます。ご意見やご質問をいただけると幸いです。

◎2月中に、外部評価を受ける予定です。ご家族の皆様は管理よりご説明し、同意書にご記入いただきたいと思いますので、よろしく願っています。

◎感染症予防のため、外出時や面会時に手洗い・うがい・マスク着用のご協力を引き続きお願いいたします。

社会福祉法人亀鶴会



特別養護老人ホーム借楽園 TEL:22-2515 FAX:22-2516	老人短期入所施設借楽園 TEL:22-2515 FAX:22-2516	居宅介護支援事業所借楽園 TEL:85-8561 FAX:22-5554
グループホーム借楽園 TEL:22-5553 FAX:22-5554	ヘルパーステーション借楽園 TEL:75-8816 FAX:22-5554	24時間いつでもコール借楽園 TEL:75-8816 FAX:22-5554

スマイル通信に関しましてご意見等ございましたらお手数ですが下記までご連絡下さい。
〒874-0904 別府市南荘園町25組
グループホーム借楽園
☎:22-5553 FAX:22-5554 担当:栗田 塚崎まで

